

令和4年度卒業生の進路決定状況

今年度の卒業生の高校生活は、新型コロナウイルス感染拡大の影響抜きには語れません。約2ヶ月遅れの入学から始まり、分散登校やオンライン授業など従来とは異なる学びの形への対応を求められ、各種体験事業やオープンキャンパスなども直前で中止が相次ぎ、進路を考え決めていく過程で不安を感じるものが少なくなかったと思います。そのような中でも目標を見失うことなく地道に努力し、大きな成果を上げました。学校推薦型選抜での進学者が全体の約6割、専門学校への進学者が全体の約3割を占める点は昨年度と大きく変わりませんでした。年度末にあたり、今年度の結果について以下のとおり進路別に紹介します。

【進学】

①国公立大学11名

山梨大学生命環境学部に一般選抜（前期）で3名が合格しました。共通テストで5教科の受験が課せられる国立大学に、出願者全員が合格したことは大健闘と言えます。公募制推薦では山梨県立大学に3名、都留文科大学に5名の計8名が合格しました。11名の合格者全員が県内国公立大学への進学ということで、例年同様に根強い県内志向がうかがえました。

②私立大学59名

昨年度と比較して、県内私立大学への進学者の割合が増加しました（39%→44%）。系統別で最も進学者が多かったのは昨年度と同じく法・経済経営・社会系の17名でした。またこちらも近年人気の高い医療技術系（看護系を含む）への進学者は12名でした。

③短期大学21名

21名全員が県内の短期大学へ進学します。特に、大月短期大学には指定校制推薦で3名、一般選抜で3名の計6名が進学します。4年制大学への編入学を当初から視野に入れて選択した人もいたので、選択肢として知っておくとよいと思います。例年進学者の多い保育系学科には帝京学園短期大学、山梨学院短期大学合わせて9名と、昨年度より増加しました。

④看護系専門学校6名

県内の専門学校3校に6名が進学します。大学を含めた看護系全体の進学者は2年連続して減少しているものの、合計11名と「看護・保育系に強い梨高」の伝統は維持しています。

⑤一般専門学校40名

今年度は全国的に情報系学科の人気の高い傾向にあったようですが、本校も同様でした。調理師や美容師、歯科衛生士など取得した資格を生かして働きたいと考えて進学する人がほとんどです。学校選択の際は国家試験合格率や就職状況なども必ずチェックしましょう。

【就 職】

①民間企業・事業所 5名

5月の校内ガイダンスを皮切りに、7月の企業説明会、夏休み中の企業見学を経て、9月16日以降に実施される選考試験に臨みました。進学希望者よりも動き出しが早いため、それに合わせた準備が必要となります。5名中2名は自営および縁故により決定しています。

②公務員 1名

1名が陸上自衛隊に合格しました。駐屯地の見学やヘリコプター搭乗体験等に意欲的に参加しました。このようなイベントへの参加はミスマッチを防ぐ観点から大変効果的です。

本校では毎年2月の自由登校期間を利用して、受験を終えた3年生から進路決定のプロセスや具体的な取り組み内容、また失敗や反省から学んだ貴重なアドバイスなどを直接聞く機会を設けています。昨年度はオンライン授業期間と重なり、録画した映像を視聴する形での実施となりましたが、今年度は先輩方の生の声を聞くことができました。それぞれの先輩方が自らの歩みを振り返って熱く語ってくれた言葉は、皆さんの心に響いたことと思います。進路希望が明確な人もまだ漠然とした状態の人も、「これなら自分にもできそうだから、物は試しで真似してみようかな」と感じたことを、ぜひ始めてみてください。始めたらそれを継続することも大切です。自分から動いてみることで何かが変わるはずです。

なお、詳細な進路決定状況および合格を手にした先輩方の合格体験記は、新年度の4月に発行する「進路だより」で改めて紹介する予定です。

新年度、順調なスタートを切るためには？

4月7日（金）の始業式までの約2週間のいわゆる春休み期間の過ごし方が、新年度のスタートダッシュの鍵を握っています。次の点を意識して過ごしてほしいと思います。

①基礎学力の定着確認の時間を確保しよう

1年間の各教科の学習内容を振り返り、抜け漏れや極端に苦手な分野はないかの確認が必要です。新学期に入ってすぐに実施する学びの基礎診断（スタディーサポート）の受験に向けて、真摯に課題に取り組み確かな手ごたえが得られるように準備しましょう。

②社会と関わり視野を広げよう

各種ボランティア活動や春季インターンシップなど、これまで制約があって実施・参加が難しかった活動が徐々に可能になってきました。こうした機会を逃さず、社会の一員としての自覚と責任を確かなものにするため、積極的に参加してほしいと思います。

③興味のある大学・専門学校等のオープンキャンパスに参加しよう

今春実施されるオープンキャンパスはオンライン形式ではなく、来場型形式に戻りつつあります。ただ事前予約を必要とする場合が多いため、ホームページ等で詳細を確認しておきましょう。あらかじめ気になるポイントを書き出した上で不明な点は遠慮せず質問すること、また一校のみの見学で決めるのではなく、複数校を比較検討して決めることが大切です。